



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 尾西 輝昭 TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 2024年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	42,780	3.5	1,661	30.6	1,989	27.8	1,394	22.0
2023年3月期第3四半期	41,352	△2.8	1,271	△51.9	1,557	△47.4	1,142	△48.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,951百万円 (58.5%) 2023年3月期第3四半期 1,231百万円 (△29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	48.97	—
2023年3月期第3四半期	39.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	80,921	69,156	85.5
2023年3月期	78,862	68,514	86.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 69,156百万円 2023年3月期 68,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2024年3月期	—	23.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	4.8	1,800	44.0	2,050	31.6	1,430	1.7	50.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社 （社名） 、 除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	30,050,759株	2023年3月期	30,050,759株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,585,004株	2023年3月期	1,586,964株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	28,465,007株	2023年3月期3Q	28,711,675株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-E S O P)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	8
(1) 販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、企業や個人の活動が正常化へ向かいましたが、中東地域の情勢に起因する資源・エネルギー価格の高騰や欧米諸国での政策金利の引き上げなどの下振れリスクを抱え先行き不透明な状態で推移しました。

食品業界におきましては、値上げが相次ぎ、消費者の節約志向や生活防衛意識の高い状態が続きました。

このような環境の中、当グループにおきましては、経営計画に基づき、これまでの成長の原点でもある昆布製品と豆製品の強化に取り組みました。

販売面では、昆布製品と惣菜製品が伸長し、売上高は427億80百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

利益面では、原材料費やエネルギー費の高騰が重荷となっておりますが、販売を伸ばすことで売上総利益額を増やし、営業利益は16億61百万円（前年同四半期比30.6%増）、経常利益は19億89百万円（前年同四半期比27.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億94百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、前年実績を上回りました。日配惣菜は、フジッコNEWデリカ株式会社の新規取引先開拓が売上高に寄与しました。中華惣菜は、株式会社フーズパレットにおいて、お弁当や冷凍中華惣菜の無添加リニューアルを進めました。包装惣菜は、そのまま食卓に出せる「おぼんざい小鉢」シリーズが牽引し、秋には「南瓜そぼろあん」を新発売して製品ラインナップを強化しました。

昆布製品は、主力のカップ佃煮「ふじっ子煮」が好調に推移し、前年実績を上回りました。「ふじっ子煮」は、白いご飯との相性の良さを訴求するTVCM（ごはんパクパク応援団篇）を9月から10月下旬にかけて北海道から近畿の主要都市で放映し、本年2月から3月にかけては中四国・九州で放映を予定しております。

豆製品は、普段煮豆と接点のない新たなユーザー獲得を狙うため、10月からおまめさんシリーズのポケモンパッケージ企画を実施し、年末に向けてはおせちの一品として「おまめさん丹波黒黒豆」を中心に売場づくりに取り組みましたが、煮豆市場のダウントレンドの影響を受け、前年実績を下回りました。

ヨーグルト製品は、前年並みで推移しました。主力の「カスピ海ヨーグルト」は、10月から11月にかけて流通タイアップキャンペーンを実施し、12月からは独特のねばりや楽しさをコンセプトムービーで伝えるとともに、購入レシートで景品が当たる「話したくなるヨーグルトキャンペーン」を実施しております。「まるごとSOYカスピ海ヨーグルト」は、10月にTVCMを放映し、放映後も購入の落ちない店舗が多くみられることから、一定のリピーター顧客の獲得につながったと分析しております。

デザート製品は、前年並みで推移しました。11月上旬より秋冬限定の「フルーツセラピー ゆず〜レモン果肉入り〜」を発売しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20億59百万円増加し、809億21百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億83百万円増加し、346億94百万円となりました。これは主に、年末にかけての売上高の増加と12月末の金融機関の休日に伴い売掛金が増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億75百万円増加し、462億27百万円となりました。これは、有形固定資産の減価償却が進む一方で、長期預金への預け入れや投資有価証券の評価が増えたこと等によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ14億18百万円増加し、98億26百万円となりました。これは主に、年末の繁忙期に向け仕入に係る買掛金が増えたことや、販売に係る未払金が増えたこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と同水準の19億38百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億42百万円増加し、691億56百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から85.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想は2023年7月28日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

また、2023年3月期から2025年3月期にかけての中期3か年計画では、2022年3月期決算短信（2022年5月13日公表）において、定量目標として2025年3月期の連結売上高570億円、連結営業利益42.5億円、連結当期純利益31.5億円、ROE5%を目指しておりましたが、公表時点において新型コロナウイルス感染症の影響の長期化、資源価格の高騰や円安の進行等に関し現在のような状況を想定できなかつたため、計画の前提条件に乖離が生じました。足元の経営環境を踏まえて計画の見直しを行い、中期3か年計画の最終年度（2025年3月期）の業績目標は、連結売上高585億円、連結営業利益23.5億円、連結当期純利益18億円、ROE2.6%に修正することといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,275	9,355
売掛金	9,003	12,428
商品及び製品	1,380	1,625
仕掛品	238	190
原材料及び貯蔵品	8,979	10,665
その他	434	432
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	33,310	34,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,968	42,201
減価償却累計額	△25,601	△26,368
建物及び構築物(純額)	16,366	15,832
機械装置及び運搬具	32,170	32,379
減価償却累計額	△22,224	△23,135
機械装置及び運搬具(純額)	9,945	9,244
工具、器具及び備品	2,238	2,277
減価償却累計額	△1,646	△1,675
工具、器具及び備品(純額)	591	602
土地	12,769	12,769
建設仮勘定	49	99
有形固定資産合計	39,723	38,547
無形固定資産	567	765
投資その他の資産		
投資有価証券	3,432	4,253
繰延税金資産	583	390
長期預金	—	1,000
その他	1,250	1,276
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,261	6,914
固定資産合計	45,552	46,227
資産合計	78,862	80,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,962	4,709
未払金	3,292	3,738
未払法人税等	40	363
未払消費税等	92	127
賞与引当金	464	118
預り金	73	314
その他	481	453
流動負債合計	8,407	9,826
固定負債		
退職給付に係る負債	1,121	1,129
従業員株式給付引当金	33	28
その他	786	779
固定負債合計	1,940	1,938
負債合計	10,348	11,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	1,006	1,006
利益剰余金	62,948	63,028
自己株式	△3,058	△3,053
株主資本合計	67,462	67,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,053	1,605
退職給付に係る調整累計額	△2	3
その他の包括利益累計額合計	1,051	1,608
純資産合計	68,514	69,156
負債純資産合計	78,862	80,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	41,352	42,780
売上原価	28,941	29,802
売上総利益	12,410	12,977
販売費及び一般管理費	11,138	11,316
営業利益	1,271	1,661
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	199	229
受取賃貸料	45	42
売電収入	42	50
その他	37	52
営業外収益合計	324	375
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	18	21
売電費用	17	23
その他	2	1
営業外費用合計	38	47
経常利益	1,557	1,989
特別利益		
固定資産売却益	138	0
投資有価証券売却益	126	25
国庫補助金等収入	42	22
特別利益合計	306	48
特別損失		
固定資産処分損	57	31
投資有価証券売却損	32	—
減損損失	137	—
特別損失合計	228	31
税金等調整前四半期純利益	1,636	2,007
法人税、住民税及び事業税	549	664
法人税等調整額	△56	△51
法人税等合計	493	613
四半期純利益	1,142	1,394
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,142	1,394

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,142	1,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	551
退職給付に係る調整額	12	5
その他の包括利益合計	88	557
四半期包括利益	1,231	1,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,231	1,951
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	14,014	33.9%	14,541	34.0%	526	18,625	34.5%
昆布製品	11,040	26.7%	12,053	28.2%	1,012	14,422	26.8%
豆製品	7,871	19.0%	7,792	18.2%	△78	9,969	18.5%
ヨーグルト製品	4,906	11.9%	4,906	11.5%	0	6,430	11.9%
デザート製品	2,056	5.0%	2,057	4.8%	0	2,578	4.8%
その他製品	1,463	3.5%	1,429	3.3%	△34	1,890	3.5%
合計	41,352	100.0%	42,780	100.0%	1,427	53,915	100.0%

(注) 増減額は、当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間との比較で表示しております。